

◆令和6年度全国学力・学習状況調査 《 中3年生 国語科 》

全体の概要

全体の正答率は全国平均をかなり下回った。無解答率も全国や県と比べて高かった。学習指導要領の内容別に改善の必要な箇所を見ると、「知識及び技能」では「情報の扱い方に関する事項」が、「思考力・判断力・表現力等」では「話すこと・聞くこと」、「書くこと」において改善が必要である。具体的には、話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する問題や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する問題について解答率が低いなど、話や文章の内容を的確に把握する力が不足しており、特に改善が必要だと考えられる。

観点	知識・技能	思考・判断・表現
分析結果・自校の課題	全体の正答率は全国平均を下回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」いずれも全国に比べて 10 ポイントほど低かった。今後の課題としては、漢字力、語彙力の拡充が挙げられる。今回、「<u>みちたりた</u>」の書き取りの問題の正答率が低く、無解答率が高かった。漢字の書き取りや語句の意味の習得など、基本的な学習が不足していることが考えられる。	全体の正答率は全国平均を下回った。特に「書くこと」については、全国平均よりも 12.7 ポイントも低かった。表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるか、という問題については正答率が最も低く、無解答率は 30 ポイントと高かった。基本的な語彙力や表現力が不足しているため、自分の考えを的確に表現することが難しい生徒が多いと考えられる。また、目的に応じて必要な情報に着目して要約する問題においても正答率が低く、無解答率が高かった。



改善に向けた具体的取り組み	「知識・技能」の観点については、漢字の読み書きや語彙指導の充実など、基礎基本を授業の中に組み込んで、生徒の漢字力、語彙力の拡充を目指す。漢字の小テストや語彙力を伸ばす課題などを取り入れていきたい。 「思考・判断・表現」の観点については、短い文章を要約する学習を繰り返し、ある程度まとまった量の文章でも、重要な部分を見極め、要約できる力を付けていきたい。また、様々な語彙の中から、自分の思いや考えを的確に表現するのに適した言葉を選び取る学習など、授業の中に組み込んでいきたい。
---------------	---

◆令和6年度全国学力・学習状況調査 《 中3年生 数学科 》

全体の概要

全体の正答率は、県平均を下回る結果となった。特に、「数と式」と「データの活用」の領域で大きく下回った。さらに、記述式の問題の無回答率が高く、資料を読み取り、論理的に考え記述することを苦手としている生徒が多いことが分かった。しかし、「関数」の領域では、正答率が県平均とほぼ同じであった。また、質問紙調査では、「数学の問題の解き方が分からないときは、あらかじめいろいろな方法を考えますか」の問いに対して、数値が特に低かった。

観点	知識・技能	思考・判断・表現
分析結果・自校の課題	全体の正答率は、県平均を下回る結果となったものの、「関数」の領域においては正答率がほぼ同じであった。問題の中の関数のグラフが表す意味が理解できていると考えられる。一方、「データの活用」の平均正答率が県平均を大きく下回った。最頻値などの用語を正しく理解できていないことが考えられるので、言葉の意味を押さえなおす必要がある。	全体の正答率は、県平均を大きく下回る結果となった。また、すべての問題の無回答率が40%を超えており、県平均と比べてとても高かった。特に「データの活用」の領域では、正答率が低く、無回答率が高かった。これは、箱ひげ図からデータの特徴を正しく読み取る力がついておらず、また読み取れてもうまく記述できないことが考えられる。また、「数と式」の領域でも、文字を使って説明する問題の正答率が低かった。式が持つ意味を理解していなかったり、式を変形していくところにつまずきがみられたりした。

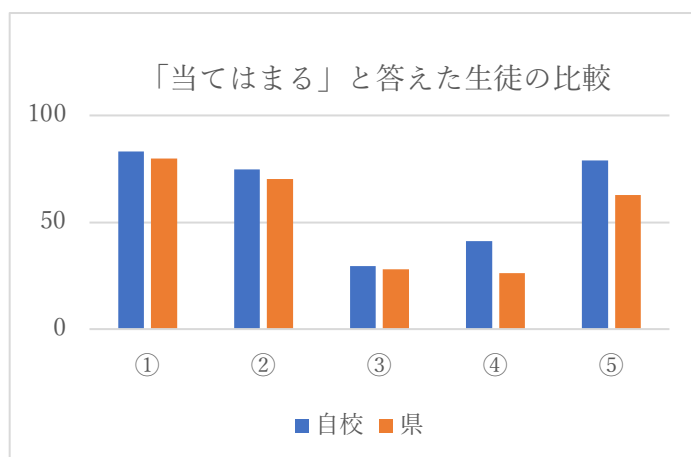


改善に向けた具体的取り組み	「データの活用」の領域では、用語の意味を正しく理解することや、箱ひげ図などからデータを読み取ることができるようになるために、タブレットを活用したドリル学習を実施する。繰り返し学習することを通して、基礎・基本の定着とデータの読み取り方や記述の仕方が身につくようにする。 「数と式」の領域では、文字を使って説明することに慣れるため、まずは穴埋め式の問題や解きやすい問題を繰り返し解き、説明を記述できるようにする。
---------------	--

◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

【 数値が特に高かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	朝食を毎日食べていますか。
②	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
③	1,2年生の時の学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を活用することについて、次のことはあなたにどのくらい当てはまりますか。（1）自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
④	1,2年生の時の学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を活用することについて、次のことはあなたにどのくらい当てはまりますか。（5）自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
⑤	国語の勉強は大切だと思いますか。

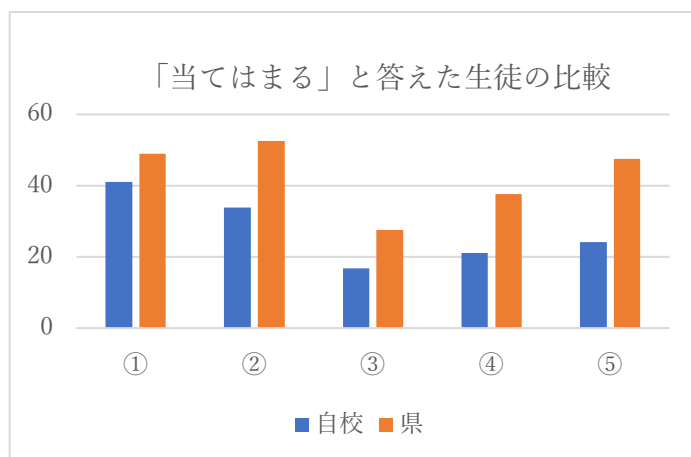


分析と取り組み

朝食を食べている生徒の割合が高く、家庭の意識が高いと考えられる。また、人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合が高く、これからも生徒会活動の充実を行っていききたい。そして、タブレットを使用することによって、個別最適な学びができており意欲的な学習につながっている。国語の学習では、コミュニケーションを図る上で言葉が大切だと理解している。

【 数値が特に低かった項目 】

	調 査 の 項 目
①	学校の授業時間意外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（1 時間以上）
②	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（1 時間以上）
③	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
④	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
⑤	今回の数学の問題では、回答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように回答しましたか。



分析と取り組み

計画的に学習に見通しをもって取り組めていない。家庭学習の時間も不足しており、普段からの学習を計画に取り組めるように支援していきたい。

また、数学での文章問題等で粘り強く考える力が低く、すぐにあきらめる傾向がある。今後は、実生活に沿った問題を取り上げるなど、生徒が意欲的に取り組める問題などの手立てを考えて行く必要がある。